



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社シンカ 上場取引所 東
コード番号 149A URL <https://www.thinca.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）江尻高宏
問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO （氏名）飯田裕樹 TEL 03-6721-0415（代表）
半期報告書提出予定日 2026年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年12月期中間期	875	24.5	△151	—	△154	—	△156	—
2025年12月期中間期	702	18.4	36	△1.7	36	358.0	27	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	△48.49	—
2025年12月期中間期	8.62	8.29

（注）2026年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年12月期中間期	1,207	936	77.6
2025年12月期	1,279	1,047	81.9

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 936百万円 2025年12月期 1,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	0.00			
2026年12月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,858	26.9	△579	—	△580	—	△546	—	△170.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	3,274,620株	2025年12月期	3,206,320株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	3,233,921株	2025年12月期中間期	3,178,364株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。また、本日18:30より決算説明会をオンライン配信にて開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当社は、経営理念「ITで世界をもっとおもしろく」のもと、企業のコミュニケーションを「見える化」するコミュニケーションプラットフォーム「カイクラ」の開発・提供を主たる事業として展開しております。「カイクラ」は、電話・SMS・メール・ビデオ通話といった多様な顧客接点を一つの基盤上で一元的に管理し、着信時の顧客情報ポップアップ、通話の自動録音・自動文字起こし、対応履歴の共有等の機能を通じて、企業の顧客対応業務の効率化と顧客体験（CX）の向上に貢献しております。主に自動車販売業（ディーラー）や不動産業をはじめとする、電話を中心とした顧客対応が事業の根幹をなす業種を中心に導入が進んでおり、継続課金型（サブスクリプション）のストック型収益を収益基盤としております。

当社は、当事業年度を「非連続な成長への転換点」と位置づけ、中長期的な企業価値の最大化に向けて、人材採用・育成、広告宣伝、研究開発、及びAI技術の活用等の成長投資を計画的かつ積極的に実行しております。これらの先行投資は、足元の収益を一時的に圧迫するものの、ストック型収益の積み上げと将来の成長加速及び収益性の改善を企図したものであり、当社が掲げる中期的な成長目標の達成に向けた基盤づくりと位置づけております。

当中間会計期間におきましては、「カイクラ」の継続的な拡販に努めるとともに、顧客の多様化するニーズに迅速に対応するため、新機能の開発・実装を継続的に進めてまいりました。とりわけ、生成AIをはじめとするAI技術を活用した機能の拡充に注力し、顧客対応業務のさらなる自動化・高度化を通じて提供価値の向上を図りました。

あわせて、既存顧客に対するアップセル・クロスセルや、利用機能の拡充に応じた料金体系の見直しを通じて、顧客あたりの収益単価（ARPA）の向上にも取り組んでまいりました。この結果、当中間会計期間末における「カイクラ」のアクティブユーザー拠点数は6,619拠点（前年同期末5,939拠点、前年同期比11.4%増）となり、新規導入の獲得と解約の抑制の両面から、ストック型収益の積み上げが着実に進展いたしました。

また、AI領域における開発力の一段の強化を目的として、2026年6月に株式会社フィックスターズとの資本業務提携契約を締結し、同社グループを割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。本提携により調達した資金は、主として「カイクラ」へのAI機能実装に係る研究開発投資に充当する予定であり、両社の技術的知見を組み合わせることで、AI機能の開発スピードと品質の向上を一層加速させてまいります。

この結果、売上高は875,076千円（前年同期比24.5%増）となりました。

また、サーバー利用料やカイクラアダプター費用、これらの設置費用などにより売上原価を175,893千円、及び人件費や広告宣伝費などにより販売費及び一般管理費を850,876千円計上しております。この結果、営業損失は151,694千円（前年同期は36,428千円の営業利益）となりました。さらに、受取利息や支払利息を計上した結果、経常損失は154,210千円（前年同期は36,877千円の経常利益）、中間純損失は156,823千円（前年同期は27,402千円の中間純利益）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産合計は1,000,700千円となり、前事業年度末に比べ125,595千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が196,479千円減少、売掛金が30,915千円増加、商品が28,887千円増加したことなどによるものであります。

固定資産合計は206,353千円となり、前事業年度末に比べ52,963千円増加いたしました。これは、有形固定資産合計が32,321千円増加、無形固定資産合計が2,216千円減少、投資その他の資産合計が22,858千円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は1,207,053千円となり、前事業年度末に比べ72,632千円減少いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債合計は270,463千円となり、前事業年度末に比べ38,244千円増加いたしました。これは、主に未払金が56,572千円増加、買掛金が30,874千円増加、契約負債が14,692千円増加、短期借入金が30,000千円減少、その他流動負債が35,379千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は270,463千円となり、前事業年度末に比べ38,244千円増加いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は936,590千円となり、前事業年度末に比べ110,876千円減少いたしました。これは、中間純損失156,823千円の計上、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行に伴う資本金22,973千円の増加及び資本剰余金22,973千円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、788,023千円となり、前事業年度末に比べ196,479千円減少いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は130,431千円（前年同期は45,991千円の獲得）となりました。これは主に、人材採用やAI技術の活用等に係る積極的な先行投資に伴う税引前中間純損失154,210千円の計上、仕入債務の増加額30,874千円、売上債権の増加額30,915千円、減価償却費及びその他の償却費16,652千円の発生、棚卸資産の増加額28,887千円、法人税等の支払額1,651千円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は51,265千円（前年同期は23,402千円の支出）となりました。これは、主に既存オフィスの増床・移転に伴う有形固定資産の取得による支出39,917千円、敷金及び保証金の差入による支出5,800千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は14,781千円（前年同期は15,001千円の支出）となりました。これは、短期借入金の返済30,000千円、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入15,218千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年2月13日に「2025年12月期 決算短信[日本基準]（非連結）」で公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984,502	788,023
売掛金	79,088	110,003
商品	19,066	47,953
その他	44,158	55,298
貸倒引当金	△520	△578
流動資産合計	1,126,296	1,000,700
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	33,889	47,570
工具、器具及び備品	30,054	55,313
減価償却累計額	△21,071	△27,690
有形固定資産合計	42,871	75,192
無形固定資産		
ソフトウェア	49,433	73,951
ソフトウェア仮勘定	27,076	—
その他	3,298	3,640
無形固定資産合計	79,808	77,591
投資その他の資産		
敷金	30,542	35,259
破産更生債権等	—	27
貸倒引当金	—	△27
その他	167	18,308
投資その他の資産合計	30,709	53,568
固定資産合計	153,389	206,353
資産合計	1,279,685	1,207,053
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,316	53,191
短期借入金	60,000	30,000
未払金	44,495	101,067
未払法人税等	7,919	9,403
契約負債	35,801	50,493
その他	61,686	26,307
流動負債合計	232,219	270,463
負債合計	232,219	270,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,249	420,223
資本剰余金	710,874	733,848
利益剰余金	△60,657	△217,481
株主資本合計	1,047,466	936,590
純資産合計	1,047,466	936,590
負債純資産合計	1,279,685	1,207,053

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	702,749	875,076
売上原価	119,823	175,893
売上総利益	582,926	699,182
販売費及び一般管理費	546,497	850,876
営業利益又は営業損失（△）	36,428	△151,694
営業外収益		
受取利息	565	1,264
違約金収入	317	27
その他	47	151
営業外収益合計	930	1,442
営業外費用		
支払利息	480	504
事務所移転費用	—	2,518
株式交付費	—	936
その他	0	—
営業外費用合計	481	3,959
経常利益又は経常損失（△）	36,877	△154,210
税引前中間純利益又は税引前中間純損失（△）	36,877	△154,210
法人税、住民税及び事業税	5,649	2,613
法人税等調整額	3,825	—
法人税等合計	9,475	2,613
中間純利益又は中間純損失（△）	27,402	△156,823

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	36,877	△154,210
減価償却費及びその他の償却費	10,534	16,652
株式報酬費用	—	1,654
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	86
受取利息及び受取配当金	△565	△1,264
支払利息	480	504
株式交付費	—	936
売上債権の増減額 (△は増加)	17,065	△30,915
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△17,856	△28,887
前渡金の増減額 (△は増加)	—	1,552
前払費用の増減額 (△は増加)	△2,198	△6,909
仕入債務の増減額 (△は減少)	30,161	30,874
未払金の増減額 (△は減少)	2,988	56,436
契約負債の増減額 (△は減少)	7,462	14,692
未収還付消費税等の増減額 (△は増加)	—	△2,896
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,431	△28,373
その他	△28,387	526
小計	60,959	△129,539
利息及び配当金の受取額	565	1,264
利息の支払額	△480	△504
法人税等の支払又は還付額 (△は支払)	△15,053	△1,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,991	△130,431
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,920	△39,917
無形固定資産の取得による支出	△20,505	△5,621
敷金及び保証金の差入による支出	—	△5,800
その他の収入	24	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,402	△51,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	△30,000
株式の発行による収入	14,998	15,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,001	△14,781
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,588	△196,479
現金及び現金同等物の期首残高	972,053	984,502
現金及び現金同等物の中間期末残高	979,641	788,023

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、カイクラ事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(資本業務提携及び第三者割当増資による新株式の発行)

当社は、2026年6月19日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社フィックスターズ（以下「フィックスターズ」）との間で、資本提携（以下「本提携」）にかかる契約（以下「本資本提携契約」）を締結すること、及び株式会社Fixstars Investment（以下「Fixstars Investment」）を割当予定先とする第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当増資」）を決議し、本資本提携契約についての契約を締結いたしました。

本第三者割当増資に係る払込みは2026年7月6日に完了しており、当該払込みは当中間会計期間の末日後に生じた事象であるため、後発事象として記載するものであります。

本提携及び本第三者割当増資の概要は以下のとおりであります。

① 本第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	2026年7月6日
(2) 発行新株式数	当社普通株式140,000株
(3) 発行価額	1株につき710円
(4) 調達資金の額	99,400,000円
(5) 資本組入額	1株につき355円
(6) 資本組入額の総額	49,700,000円
(7) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法による (Fixstars Investment)
(8) その他	払込金額の総額が1億円未満であるため、金融商品取引法に基づく 有価証券通知書を提出いたします。

② 募集の目的及び理由

当社は、「ITで世界をもっとおもしろく」という経営理念を掲げ、顧客対応業務の課題解決を目的としたクラウド型コミュニケーションプラットフォーム「カイクラ」を提供しております。

「カイクラ」は、電話・SMS・メール・ビデオ通話等の多様なコミュニケーション手段を一元管理するプラットフォームとして、2026年5月末現在において利用企業数が約3,200社、アクティブユーザー拠点数が約6,500拠点に達するなど、導入が着実に拡大しております。また、当社は現在、AI技術の活用を含む機能高度化への投資を積極的に推進し、プロダクトの付加価値向上及び市場拡大を図る成長フェーズにあります。

一方、フィックスターズは「ソフトウェアの力で、顧客のビジネスを加速する」をミッションとし、高度なソフトウェア高速化技術に加え、近年では企業のビジネス課題やフェーズに合わせて、ワンストップでAI開発・運用サポートができる強みを有しており、多数のエンタープライズ企業へのAI導入実績があります。

当社は2026年2月13日に「2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」内に、2026年12月期は成長投資額として合計で約984百万円の積極的な投資を行うことを公表いたしました。その中でもとりわけ、他社AI関連サービスのリリースに対抗し、「カイクラ」の優位性を維持するため、生成AI関連サービス（AI電話、AIチャット）などのサービス展開の検討・推進が必要な状況となっており、開発スピードも重要なポイントとなっております。

加えて、2026年3月27日公表「株式会社フィックスターズとの業務提携に関するお知らせ」において、自社人員でAI開発ができる技術力を持ち、遂行できることに強みを持つフィックスターズとの業務提携の発表をしておりましたが、この度、更なる連携を深めることを目的とし、資本提携に踏み込んだ協業を行うことになりました。

③ 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

払込金額の総額（円）	発行諸費用の概算額（円）	差引手取概算額（円）
99,400,000	1,500,000	97,900,000

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、主に弁護士費用、登録免許税、その他事務費用です。

(2) 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期

本第三者割当増資により当社が調達する差引手取概算額97,900,000円の具体的な使途は、以下のとおりです。この使途については、2026年2月13日に公表いたしました、「2025年12月期 通期決算説明資料（事業計画及び成長可能性に関する事項）」に記載されているAI投資（総額3.50億円）の一部に該当するものとなります。なお、調達資金を実際に支出するまでは、当社預金口座で適切に管理する予定です。

具体的な資金使途	金額（円）	支出予定時期
当社製品へのAI技術の実装費用	97,900,000	2026年7月～2026年12月

本第三者割当増資により調達する資金は、当社が運営するコミュニケーションプラットフォーム「カイクラ」における生成AI関連機能の開発及び機能向上のための費用に充当する予定です。具体的には、「カイクラ」において、AI電話及びAIチャット等の生成AIサービスを実装し、顧客対応業務の自動化・効率化及び応対品質の向上を図るため、当該機能の企画・設計、システム開発、検証・テスト、精度向上のためのデータ整備及び運用改善等に係る費用に充当する予定です。